

かすがい 市議会 だより



第92号

2017年2月
(年5回発行予定)

もくじ

- ・補正予算案など……………2
- ・請願審議など……………3
- ・一般質問……………4

小野道風誕生伝説地

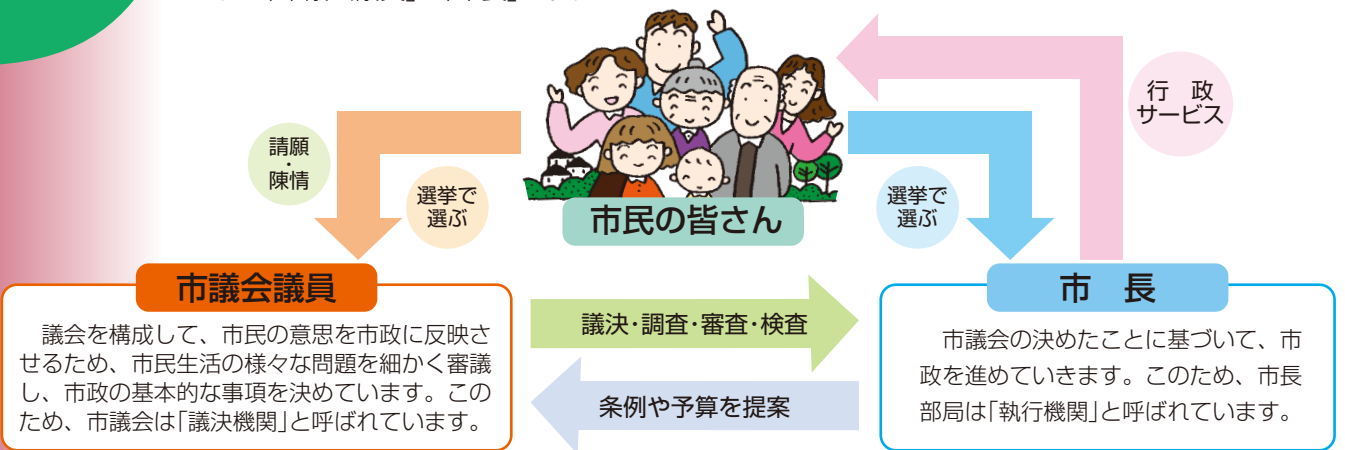
小野道風は、平安の三跡の一人で松河戸町が生誕地と伝えられています。道風公園の西隣に屋敷跡の伝説地があり、生誕地を示す石碑が建てられています。また、昭和56年道風公園内に書聖小野道風の偉業をたたえ、全国的にも数少ない書専門の美術館として道風記念館が開館しました。

平成28年 第5回定例会（11月30日～12月15日）

今定例会には、補正予算案3件、条例案17件、人事案件4件、議員提出議案1件が提出され、原案のとおり可決・同意・了承しました。また、請願1件を不採択としました。なお、12月12日には15人の議員が一般質問を行い、市の考えをたきました。

市議会のおはなし

私たちが暮らしている春日井市を、快適で住みよいまちにしていくためには、市民一人ひとりが市政に参加し、自分たちで考え、話し合い、決めたことを、自分たちの手で実行していくことが理想です。しかし、市民全員が一堂に集まることはできません。そこで市民の代表者を選びます。これが「市議会議員」と「市長」です。



市議会と市長は、互いに独立した立場から協力しあい、市民福祉の向上をめざし、市政運営に努めています。市議会は、市民の代表として十分な活動ができるように議決権、調査権、監査請求権など多くの権限をもっています。これらの権限に基づいて、次のような仕事をしています。

- 議決：**市議会の最も基本的な仕事で、条例や予算など重要な問題について決定します。
- 選挙：**議長、副議長をはじめ、選挙管理委員会委員などを選挙します。
- 同意：**副市長や教育委員などを市長が選任する場合に議会の同意を必要とします。
- 検査・監査の請求：**市の事務等を検査したり、監査委員に対して監査するよう求めます。
- 調査：**市の事務を調査することができ、必要によっては関係者に対して出頭や証言、記録の提出を請求します。
- 意見書の提出：**市の公益にかかわることについて、国や県など関係行政機関に意見書を提出します。

平成28年度 補正予算案(3件)

◆一般会計補正予算 【原案可決：賛成多数】

臨時福祉給付金 7億3,300万円（国の予算が成立したため補正します。）・橋りょう整備阿原跨線道路橋改修 3億2,000万円（詳細調査の結果、橋桁の支承・防護柵の取替が必要であることが判明したため補正が必要となりました。）・都市交流拠点整備JR春日井駅前広場整備 2億4,400万円（北口駅前広場の歩道屋根等の建設工事で国の補正予算に伴うH29年度予定事業の前倒しです。）・障がい者福祉推進2億600万円（事業所と利用者が増加しているため補正します。）・高蔵寺ニュータウン創生事業市道7193号線歩道整備6,500万円（藤山台中学校に隣接する歩道の拡幅工事で国の補正予算に伴うH29年度予定事業の前倒しです。）・文化フォーラム空調設備更新5,300万円（文芸館の空調機の故障・老朽化に伴い更新するため補正します。）・朝宮公園管理費維持管理用品購入等1,000万円（H29年度より市への移管が予定されている朝宮公園の維持管理を行うため補正します。）・その他、老人福祉施設整備等補助3,634万7,000円、一般旅券発給事業1,500万円、障がい者福祉施設整備補助756万6,000円、母子家庭等自立支援350万円、放課後児童クラブ開所準備費補助160万円を補正するものです。

◆水道事業会計補正予算 【原案可決：全会一致】

上水道配水管布設工事 1億350万円を工事の早期着手のため債務負担行為として定めるものです。

◆公共下水道事業会計補正予算 【原案可決：全会一致】

公共下水道施設整備事業13億7,049万2,000円を補正するものです。

条例案 (17件)

◆総合計画策定条例 【原案可決：全会一致】

総合的かつ計画的な市政の運営を図るための、総合計画の策定について定めるものです。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：賛成多数】

国家公務員の給与改定に準じ、市職員の給与を改定するものです。

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

市長等の期末手当を改定するものです。

◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：賛成多数】

市議会議員の期末手当を改定するものです。

◆一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

国家公務員の給与改定に準じ、一般職の任期付職員の給与を改定するものです。

◆職員退職手当支給条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

雇用保険法の一部改正に伴い、失業者の退職手当に係る規定を整備するものです。

◆市税条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴い、特例適用利子等及び特例適用配当等に係る個人の市民税の課税の特例制度を設けるものです。

◆出張所設置条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

春日井庄名土地区画整理事業の換地処分に伴い、高蔵寺出張所の所管区域に庄名町1丁目及び2丁目を加えるものです。

◆国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額について基礎課税額を54万円(現行52万円)へ、また後期高齢者支援金等課税額を19万円(現行17万円)へ改定するものです。また、外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴い、特例適用利子等及び特例適用配当等を国税の所得割額の算定に含めることとする国税の課税の特例制度を設けるものです。

◆朝宮公園スポーツ施設条例 【原案可決：賛成多数】

新たに朝宮町地内に朝宮公園スポーツ施設（競技場・野球場・テニスコート）を設置することに伴い、利用の許可や施設の使用料の規定を整備するものです。

◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

厚生労働省令に準じて規定を整備するものです。

指定地域密着型サービスの事業については、地域密着型通所介護と指定療養通所介護の人員、設備及び運営の基準を設けるものです。

指定地域密着型介護予防サービスの事業については、指定介護予防認知症対応型通所介護事業者は、講ずべき非常災害対策の対象を地震、風水害、火災、その他の非常災害とし、その訓練の実施に当たり、地域住民との連携に努めること。また、介護の提供に当たり、利用者及びその家族、地域住民の代表者、関係職員、有識者等により構成される運営推進会議を半年に1回以上開催すべきこととするものです。

◆病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

診療科目の一部の再編と、一般病床の数を552床(現行556床)に改めるものです。

◆道風記念館条例及び特定都市河川浸水被害対策に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

松河戸土地区画整理事業の換地処分に伴い、道風記念館の所在地を松河戸町946番地2から松河戸町5丁目

9番地3へ改め、また雨水浸透阻害行為の規模の引下げに係る区域に松河戸町3丁目及び4丁目の各一部を加えるものです。

◆尾張都市計画事業松河戸土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

事業の清算に伴い、清算金を分割徴収する場合の利率を年3.6%(現行 年6.0%)に引き下げるものです。

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

関連法の一部改正に伴い、職員の休暇として新たに介護時間を設ける等の、規定を整備するものです。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

関連法の一部改正に伴い、育児休業等の対象となる子の範囲を拡大する等の、規定を整備するものです。

◆企業職員の給与の種類および基準を定める条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

雇用保険法の一部改正等に伴い、規定を整備するものです。

請願審議(1件)

1件の請願が提出され、委員会に付託し審査しました。その後、本会議で委員長審査結果報告があり、採決の結果は次のとおりです。

◆国民健康保険税の引き下げを求める請願書 【不採択】

人事案件(4件)

任期満了に伴い、副市長に早川利久氏の選任に同意しました。また、任期満了に伴い、人権擁護委員に神戸康彦氏、吉田覚氏、岡部愛子氏の推薦を了承しました。

議員提出議案(1件)

意見書1件を議員提案し、原案のとおり可決した後、関係機関へ提出しました。内容は次のとおりです。

◆ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書 【原案可決：全会一致】

本年8月、東京メトロ銀座線青山一丁目駅で、盲導犬を連れていた視覚障がい者の男性がホームから転落し、電車にはねられ亡くなるという大変痛ましい事故があった。また、その対策に動き出していた矢先、10月には、近鉄大阪線河内国分駅で、全盲の男性がホームから転落し、特急電車にはねられ亡くなるという事故が発生した。駅の安全対策の観点からも、列車との接触や転落防止に効果が高いホームドアや転落防止柵の設置は急務である。

また、ホームドア等が設置されるまでの対策として、視覚障がい者がホームの内側を判別できる「内方線付き点状ブロック」の整備も重要である。

よって、政府においては、視覚障がい者を始め全ての駅利用者が安心して駅ホームを利用できるよう、転落事故防止対策の検討を急ぐとともに、さらなる安全性向上に向け、次の事項について取り組むことを要望する。

1 ホームドアの設置にあたっては、全ての鉄道駅ホームの危険箇所の実態調査を速やかに行うこと。とりわけ、転落の危険性が高い駅については、現在計画中の駅とあわせて、速やかな設置を促進すること。

2 「内方線付き点状ブロック」の整備については、全駅での整備を促進するため、予算措置を講ずること。

委員会開催状況

◆文教経済委員会(11月14日)

報告事項

- 1 国民健康保険税の課税限度額の改定(答申)について
- 2 文化・スポーツ都市宣言(案)について
- 3 新型市民農園の整備について
- 4 平成28年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について
- 5 春日井市いじめ防止基本方針(中間案)について

◆厚生委員会(11月15日)

報告事項

- 1 雑がみ回収袋について
- 2 一般廃棄物最終処分場建設工事進捗状況について

◆建設委員会(11月16日)

報告事項

- 1 春日井市立地適正化計画(素案)について
- 2 コミュニティ住宅の今後の活用について

◆総務委員会(11月17日)

報告事項

- 1 朝宮公園整備構想(中間案)について
- 2 春日井市公共施設等マネジメント計画(中間案)について
- 3 行政組織の見直しについて
- 4 平成28年度人事院勧告の概要について
- 5 公共交通整備に係る要望活動報告について

◆総合計画特別委員会(11月18日)

報告事項

- 1 次期総合計画の策定状況について
- 2 市民参加の状況について
- 3 総合計画審議会について
- 4 今後の主な策定スケジュール(予定)について

◆文教経済委員会(12月5日)付託議案4件、請願1件

◆厚生委員会(12月6日)付託議案3件

◆建設委員会(12月7日)付託議案5件

◆総務委員会(12月8日)付託議案8件

◆総務委員会(12月15日)付託議案2件

◆建設委員会(12月15日)付託議案1件

一般質問

市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、15人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、25項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



1 春日井市消防本部の救急搬送状況について

質問者 はせ かずや

質問 年間13,000件を超える出動要請がある救急搬送。尾張北部医療圏3次救命救急センターの市民病院と共に市民の「安全・安心」確保に奮闘する本市消防本部であるが、本市の救急車の現場到着平均時間及び病院収容平均時間は、愛知県・全国と比較してどの水準であるのか、また救急搬送の課題や問題点はどのようなことか、人材の育成に対する取組み等を問う。

担当 消防救急課

【答弁】本市救急車の現場到着及び病院収容の平均時間は、愛知県平均、全国平均よりともに早い状況にあります。また、救急搬送の課題では、増加傾向にある高齢者への対策をはじめ、限りある搬送資源を緊急性の高い事案に優先して投入するために、救急車の適正利用を更に推進していくことです。人材育成に対しては、認定救命士の養成をはじめ、通信指令員を含め救急業務に携わるすべての職員の資質向上に努めています。



2 安心して受けられる在宅医療について

質問者 末永 けい

質問 ①在宅医療の実施医療機関数など市内の現状②課題③在宅医療を希望する方やご家族への相談窓口体制④在宅医療を担う医療機関を増やすための取り組み⑤医療と介護の連携⑥市民病院における在宅移行への支援内容や介護事業者との連携⑦市外にある医療機関に入院した市民が在宅移行する際の市内の在宅医療機関との退院調整などの連携について、それぞれ問う。

担当 地域福祉課・医事課

【答弁】①診療所29か所、病院2か所です。②在宅医療を担う医療機関を増やすことです。③市と地域包括支援センターが医師会の在宅医療サポートセンターと連携し対応します。④訪問診療導入研修等が実施されています。⑤関係専門職の顔の見える関係づくりを進めています。⑥市民病院では、退院支援計画書をもとに在宅移行を支援するとともに、研修会等で介護事業者との連携に努めています。⑦各医療機関が広域的な退院調整機能の構築を進めています。



その他の質問事項 •電子決済の普及促進について •かすがいっ子育て応援券について

3 公共下水道事業（污水）について

質問者 あさの 登

質問 本市の「下水道基本計画」(污水)には計画目標年次が平成37年度とされているが、達成できそうにない。実際の完了目標年次を問う。また、下水道計画区域外に昭和40年代以降建設された住宅団地がいくつか存在する。こうした地域の下水道施設の本市での行政上の位置づけを問う。さらに、こうした施設を将来、市に移管することについて市の考えを問う。

担当 上下水道経営課

【答弁】下水道基本計画の達成時期については、市の財政状況や社会経済状況などにより、事業の進捗は変動しますので明確にお答えすることはできません。また、地域の大規模な集中浄化槽について、下水道事業として特別な位置づけにしておらず、個人で設置、管理している浄化槽と同様、個人宅等の汚水を集中処理する施設として、地域で所有し管理していることから、市への移管は考えていません。



4 地域における市民防災マニュアルについて

質問者 田口 よしこ

質問 地域で市民防災マニュアルが作成できれば災害だけに限らず防犯意識も高まり、地域の連携がより一層とれ、町内会という組織の重要性も再認識されます。そこで1点目は現状について、地域で作成された件数について。2点目は、地域の方々による市民防災マニュアルの作成が進まない理由、作成できた地域の状況、そして普及のための周知啓発について問う。

担当 市民安全課

【答弁】 備蓄食糧購入や印刷等の経費に対する補助制度を活用して防災マニュアルを作成した地域は、昨年度までで12団体、今年度11月末で26団体です。また、実効性の高いマニュアル作成には、地域の合意形成に時間を要するため、なかなか進んでいませんが、作成された地域では、防災意識の向上や連携強化が着実に図られています。今後も様々な機会を捉えて啓発を進め、作成の相談には助言や支援を行っていきます。



5 「赤ちゃん登校日」授業の導入について

質問者 伊藤 あんな

質問 赤ちゃん登校日とは赤ちゃんとその親が学校に行き児童生徒と関わり体験を持ち、赤ちゃんを通じて命の尊さを心と肌で実感しながらコミュニケーションを学ぶ授業です。人間関係が希薄になりつつある時代には意図的に異世代との関わり体験を作ることが必要となっている。赤ちゃん登校日はそれらを学ぶ大きな後押しをしてくれるが市で取組む考えはないか問う。

担当 学校教育課

【答弁】 人間関係が希薄になるなか、本市においては、小学校では、縦割り学習や通学団での登下校により、学年を超えた関係を図る取組みなど、また、中学校では、職場体験を保育施設で行うことにより、同年代の子ども同士ではない人間関係の構築が図られるよう、努めています。「赤ちゃん登校日」の導入については、人間関係を構築する機会を図る一助になるとの考えがあるので、近隣市の取組みを踏まえ、調査研究していきます。



その他の質問事項
• 骨髄バンク事業推進について

6 防災・減災への対応について

質問者 いしとび 厚治

質問 実際に災害に遭遇した時、何をすべきかを冷静に判断することは極めて困難です。普段からの訓練や備えは、自分と家族の命を災害から守る第一歩といえます。自分の居住地域にどのようなリスクがあるかなど災害時に対応する知識が必要です。そこで本市の防災・減災への対応について①自主防災組織の役割と活動について②感震ブレイカーの設置について問う。

担当 消防救急課・予防課

【答弁】 ①自主防災組織は、地域住民の共助精神に基づく防災組織で、住民自ら協力して消火器取扱いなどの初期消火訓練、バールや爪付きジャッキを使用した救出救護訓練等を実施し、災害発生時には組織的な活動ができるよう備えています。②感震ブレイカーの設置につきましては、市の防災訓練をはじめとする各種イベント会場にて展示、実演し、その効果を理解していただくなど設置推進を図っています。



7 公共施設等マネジメントについて

質問者 村上 しんじろう

質問 人口減少・少子高齢化による人口構造の変化に伴う税収の減少、社会保障費の増加による財源不足が懸念されることを受け、新たに専門部署を設置して市の全公共施設を一括管理する計画であるが、①費用をどれくらい抑制するのか目指すべき目標値が必要ではないか、②人口構造を加味した施設の統廃合を伴う最適配置が必要と考えるが、考えを問う。

担当 企画政策課

【答弁】 ①目標値は、本計画が30年間と長期間の計画であるため、毎年度の財政状況や社会情勢の変化、中期財政計画とあわせ、長寿命化による各施設の更新時期を見極めつつ、本計画に基づく5年ごとの施設のあり方検討の中で判断していきます。②公共施設は、市全域を対象とした施設と地区ごとに必要な施設がありますので、今後施設を更新する際には、市内の配置バランスを考慮し、最適配置を検討していきます。



8 高蔵寺リ・ニュータウン計画について

質問者 加藤 たかあき

質問 市内でも先行して少子高齢化、空き家増加など問題が顕在化してきており本年度より事業の実施が始まりました。高蔵寺ニュータウンと周辺地域の持続可能なまちづくりを進めるにあたり、高齢の方の移動手段の確保と新しい子育てファミリー世帯に向けて、交通の利便性の向上が必要であります。交通網整備についてどのような施策を考えているか問う。

担当 ニュータウン創生課

【答弁】交通につきましては、リ・ニュータウン計画においても位置付けがありますが、高齢者をはじめ市民の皆様の移動手段の確保につきましては、高蔵寺ニュータウンに限らず市内全体の課題として、多様な視点から検討していきます。



9 「災害廃棄物処理計画」の策定について

質問者 田中 千幸

質問 発災後のゴミやがれきの路上への不法投棄によって復旧活動に支障が出たことで国は災害廃棄物の処理計画策定を地方自治体に対し進めている。愛知県は本年10月に策定したばかりだが、本市の策定状況はどうなっているか。又、県で想定されているごみの量と本市だけで処理できない場合、他市町村との応援連携協定はどうなっているのか、の3点について問う。

担当 ごみ減量推進課

【答弁】災害廃棄物処理計画については、平成29年度以降、発災前の業務や発災後の応急対策、復旧・復興対策など必要な事項を策定していきます。県が想定している災害廃棄物の量は、通常ごみの約10年分、県全体で2,709万トン、本市は7万2,000トンと膨大な量が発生すると見込まれています。本市では、県内全ての市町村や公共下水道管理者と応援協定を締結しており、相互に協力、支援できる体制となっています。



10 道路陥没対策について

質問者 石原 めいこ

質問 福岡市で発生した道路陥没事故を受け早急な対策が重要であります。未然に防ぐ対策として、道路面に向かって超音波を発生させ跳ね返りを利用して道路下の空洞を調査する測定車があります。そこで①幹線の延長距離、その維持管理の現状について。②市が管理している幹線道路、緊急輸送道路の空洞調査の実施について今後の考え方を問う。

担当 道路課

【答弁】①市の管理している幹線道路の総延長、約141キロメートルを日常の道路パトロールによる巡回点検や本市の「幹線道路中期整備計画」に基づき、計画的に維持管理を行っています。②過去に大きな道路陥没等がないことから、これまで空洞調査は実施していませんが、「路面下の空洞調査」は有効なものであると考えており、調査精度の技術的課題や国の助成制度等を総合的に勘案するなど、実施に向けて調査・研究していきます。



11 春日井市市営住宅について

質問者 熊野 義樹

質問 ①今後建設する市営住宅を木質系構造で建設する考えについて問う。②木造の市営住宅は、5団地があるが、建設当時の戸数と現在の入居戸数について問う。③どのように木造住宅からの退去をお願いしているか問う。④用途廃止を予定されている団地は解体され空き地となるが、こうした団地内に町内会の集会場がある場合の取り扱いについて問う。

担当 住宅施設課

【答弁】①今後建替を行う市営住宅は中高層を基本としており、必要とされる強度や耐火性能の観点から、木質系建築物は中高層建築物には、なじまないものと考えます。②木造住宅5団地の総管理戸数は、建設当初184戸で、現在は61戸です。③木造住宅入居者の方へは、耐震上に課題があることから、一刻も早い移転をお願いしています。④牛山住宅及び町屋住宅に集会場がありますが、これらの取り扱いについては、今後、地元町内会などと協議を進めながら検討します。



12 リニア中央新幹線工事について

質問者 伊藤 建治

質問 JR東海は瀬戸市に「2017年初めに坂下非常口の立坑工事を始める」と説明、一日100台のダンプカーの通行ルートも明示した。春日井市には工事内容、スケジュール、ルート、工事説明会の予定の説明はないのか。予想されるダンプカーのルートは通学路、慢性的な渋滞がある所などを通り、新東谷橋から市外へ。影響を受ける地域全てに説明が必要だが、市の見解は。

その他の質問事項

- 生活困窮者への支援について
- 学校給食について
- 精神障がい者医療費助成について

担当 交通対策課

【答弁】J R東海から、具体的な工事内容や工事説明会スケジュールの説明は受けていませんが、工事の着工は工事説明会の開催後になると聞いています。また、工事で搬出される土砂は、工事用道路の設置や瀬戸市内へ運搬する計画以外に、工事現場から幹線道路まで最短距離で出て通行すると聞いています。市は、住民への丁寧な説明と、不安や疑問には真摯な姿勢で対応することを要請しています。



13 高齢者の外出支援について

質問者 宮地 ゆたか

質問 高齢者の運転する車の事故が多発していますが免許証を返納するとその後の暮らしが不便になります。今、シティバスの運行負担金等は一人一回り約450円で個人への補助金に相当します。同様の考えで免許証返納者にタクシー券を支給することについて。上田楽町地内を通行しているこまき巡回バスのバス停設置を小牧市に働きかけることについて。問う。

その他の質問事項

- ギャンブル依存症について
- 選挙での投票権の保障について

担当 交通対策課

【答弁】高齢者ドライバーを含めた交通事故抑止として、安全運転教室の開催など対策を講じています。運転免許証自主返納者を対象として、タクシー券を配布する考えはありませんが、今後の公共交通を用いた移動手段の確保を、他市の事例を参考に考えていきます。また、バス等公共交通について小牧市とは日頃より情報交換を行っており、今後も両市民の利便性向上について協議を進め、検討していきます。



14 保育行政について

質問者 原田 祐治

質問 ①育休退園の廃止を求める②小規模保育事業所は、半分以上が保育士資格を持っていればよいB型を、全員が資格を持つA型への移行が望ましい。移行への考えについて問う③私立保育園の運営費は、園児の人数に対して支給される。0歳児は年度途中で大きく増えるので、年度初めから定員に合わせて保育士を配置することが難しい。定員に対する支給を求める。

その他の質問事項

- 震災対策について

担当 保育課

【答弁】①年度途中の入園希望者への対応に優先して取り組む状況であり、育休退園を止めることは難しいと考えています。②保育需要の増加に対応するため、まずは区分にとられず整備を進めることが必要と考えますが、保育の質の確保も重要であることから、巡回指導等の実施に加え、保育士の増員等を働きかけています。③国が定める委託料に加え、市独自の上乗せ補助の中で人件費も支給しており、定員に応じた支払いは考えていません。



15 高蔵寺弾薬庫での空砲使用について

質問者 内田 謙

質問 11月10日、高蔵寺弾薬庫で空砲を使用した訓練が行われた。周辺の町内会等に回覧されたお知らせには、「空砲を使用するため、破裂音がすることがあります」と書かれていた。実際に聞くとけっこう大きな破裂音がした。このような訓練は今回初めてだ。空砲と間違えて実弾を使った誤射も起きている。空砲を使った訓練の中止を求める考えはないか問う。

その他の質問事項

- 教員の多忙化対策について

担当 環境政策課

【答弁】空砲を使用した訓練は外部からの侵入者対策を目的に、基地内で実施されたものであり、周辺の自治会に対して事前に訓練概要が周知されています。また、当日、市が行った現地確認では、空砲音は周辺環境に影響が出るレベルのものではありませんでした。これらのことから、現在のところ、市としては、訓練の中止を求める考えはありませんが、今後も情報収集に努めるとともに、訓練の動向に注視していきます。



市議会のホームページ

インターネットで次のような情報をご覧いただくことができます。



- 市議会議員名簿
- 提出議案・請願一覧
- 一般質問事項一覧
- 市議会だより
- 市議会の予定
- 本会議・常任委員会の議事録
- 傍聴について など

【アドレス】 <http://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>
春日井市のホームページからアクセスしてください。



傍聴のお知らせ

市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。

平成28年では、本会議には延べ199人、委員会には延べ15人の方に傍聴にお越しいただいております。

皆さんもぜひ、議会の傍聴にお越しください。

また、お子様連れの方も含め、より多くの方々に議会を知っていただくため、本会議の開会中は市役所1階市民ホール及び5階議場傍聴席入口横に、本会議の様子をご覧いただくことができるテレビを設置しています。



【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は市役所5階の議場傍聴席入口にお越しください。定員は88人で、うち車いす席は6席です。

【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前9時に開会します。当日の午前8時30分から午前8時45分までに市役所3階議会事務局にお越しください。定員は5人で定員を超えた場合は抽選により決定します。

問い合わせ 議事課 (☎85-6492)



道風くん



平成29年第1回定例会予定

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 2月17日(金) 10:00～ | 本会議 (市政方針説明) |
| 2月21日(火) 10:00～ | 本会議 (市政方針に対する質問) |
| 2月22日(水) 10:00～ | 本会議 (市政方針に対する質問)
(提案理由説明) |
| 2月23日(木) 10:00～ | 本会議 (提案理由説明) |
| 2月27日(月) 10:00～ | 本会議 (質疑、委員会付託) |
| 3月1日(水) 9:00～ | 文教経済委員会 |
| 3月2日(木) 9:00～ | 厚生委員会 |
| 3月6日(月) 9:00～ | 建設委員会 |
| 3月7日(火) 9:00～ | 総務委員会 |
| 3月9日(木) 10:00～ | 本会議 (一般質問) |
| 3月10日(金) 10:00～ | 本会議 (一般質問) |
| 3月14日(火) 10:00～ | 本会議 (採決) |

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。問い合わせ 議事課 (☎85-6492)

編集後記

昨年10月30日、JR春日井駅の橋上駅舎が供用開始されました。この35年強の時をかけて、JR高蔵寺駅に始まり、神領駅、勝川駅と順に整備され、今回の春日井駅で定光寺駅を除く市内JR駅の整備が一回りいたしました。

これを機に、平成7年度からの各駅の乗降者数の推移を見てみました。増減を繰り返している駅、増加の一途をたどる駅、減少し続けている駅がありますが、少子高齢化・人口減少時代を迎えても市内の駅利用者はむしろ増えております。その時々々のマンション開発や土地区画整理などが反映されているからでしょう。

行政の施策は即効性のあるものばかりでなく、効果が見えにくいものもごぞいます。平成29年も、編集委員一同、わかりやすい議会報づくりに努めてまいります。

編集委員一同